

平成21年8月24日
溶学研第21-29号

委員各位

社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 里中 忍
JIW No.3 委員会
委員長 里中 忍
(公印省略)

開催案内

第86回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合せの上、ご出席下さいますようにご案内申し上げます。

なお、ご出欠は、回答欄にご記入の上、e-mail (s.kogure@tt.rim.or.jp) にて

平成21年9月10日(木)までにお知らせ下さい。

記

1. 日時

平成21年 9月 17日(木) 10:40～16:20

2. 場所

国立大学法人 大阪大学接合科学研究所 荒田記念館(案内図参照)
〒567-0047 茨木市美穂ヶ丘1-1-1
交通手段は大阪大学接合科学研究所ホームページの所在地・交通を参照
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/about/access.html>

3. 幹事会開催のお知らせ

当日もしくはメールにてお知らせいたします。

役員及び幹事(またはその代理)の方は是非ご出席下さい。

◎質疑は、自由討論の場にしたいと思います。活発なご質問、ご意見をお待ちしております。

◎一事業所から3名以上ご出席いただく場合には、3名目の方から参加費として、1名につき2,000円納入願いますのでご了承下さい。なお、この場合には、あらかじめお知らせ下さい。

◎特集テーマだけでなくこれ以外の発表資料も募集しております。発表していただける方は事務局または幹事までご連絡下さい。現場ニュース、研究速報も歓迎いたします。

◎昼食は、各自ご用意下さい。

第 8 6 回軽構造接合加工研究委員会プログラム

ー継手構造のあり方と強度評価及び接合に関わる解析ー

1. 日時 : 平成21年9月17日(木) 10時40分～16時20分
2. 場所 : 国立大学法人 大阪大学 接合科学研究所 荒田記念館
3. プログラム(都合により、若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます。)

時 間	題 目	講 演 者
10:40～11:20	新 ISO 用語に準拠した抵抗溶接機器概要 (MP-462-2009)	Smart Welding Technologies ○松山 欽一 新日本製鐵(株) 高橋靖雄 (株)電元社製作所 長谷川和芳
	平成 21 年 7 月 1 日に重ね抵抗溶接の用語規格が ISO として発行され、本講演では、この新用語に基づいて再整理された抵抗溶接機器について紹介する。	
11:20～12:00	レーザによる金属とプラスチックの異材直接接合 (MP-463-2009)	大阪大学 接合科学研究所 ○片山聖二、川人洋介 大阪大学 大学院 丹羽悠介、浪江貴史
	金属とプラスチックをレーザで直接接合する方法を開発した。接合法の特徴、接合部の特徴と良好な高強度接合部を得るための接合条件、接合機構、鉄とアルミニウムの異材接合への応用例などを紹介する。	
12:00～13:10	昼食および休憩(幹事会の開催)	
13:10～13:30	委員会(軽構造接合加工研究委員会・JW委員会) 議事	
13:30～14:10	スポット溶接継手の破断予測技術の開発 (MP-464-2009)	住友金属工業(株) ○上田秀樹
	スポット溶接部周辺の相当塑性ひずみを破断基準にした溶接継手の破断予測技術を開発した。本技術を自動車部材を模擬したハット部材の衝突解析に適用した結果、吸収エネルギーを精度良く予測できた。	
14:10～14:50	連続接合法のボデーへの適応研究 (MP-465-2009)	三菱自動車工業(株) ○藤井康司
	連続接合による結合強度を向上させ、ボデー剛性を高める。これにより、スペシャリティカーの走行性能を部品の追加や板厚 UP 無しに向上できる。今後この技術を応用し、一般車の軽量化に活用を検討して行く。	
14:50～15:00	休 憩	
15:00～15:40	マグネシウム合金の抵抗スポット溶接法の開発とその継手性能 (MP-466-2009)	熊本大学 ○里中忍、岩本知広 村上元一郎、松本剛幸
	本研究では、マグネシウム合金板をカバープレート(軟鋼板)で挟んで溶接するスポット溶接法を提案し、鋼と同程度の溶接電流で高い接合強度が得られることを明らかにした。また、ブローホールの抑制に有効な接合条件も明らかにした。	
15:40～16:20	オイラー・ラグランジュ連成有限要素解析法を用いた電磁力衝撃圧着法に関する基礎的解析 (MP-467-2009)	大阪大学接合科学研究所 ○芹澤久、S. Rashed、村川英一 大阪大学 大学院 柴原伊左男
	汎用オイラー・ラグランジュ連成有限要素解析ソフトである MSC.Dytran (MSC Software)を用いて、電磁力衝撃圧着法における接合界面形成メカニズムに関して、力学的視点に基づいた基礎的解析を行い、衝撃速度ならびに衝突角度によって、界面近傍に生成する塑性ひずみ分布が二種類に分離することを、またこの塑性ひずみ分布が接合界面生成の指標と考えられることを紹介する。	

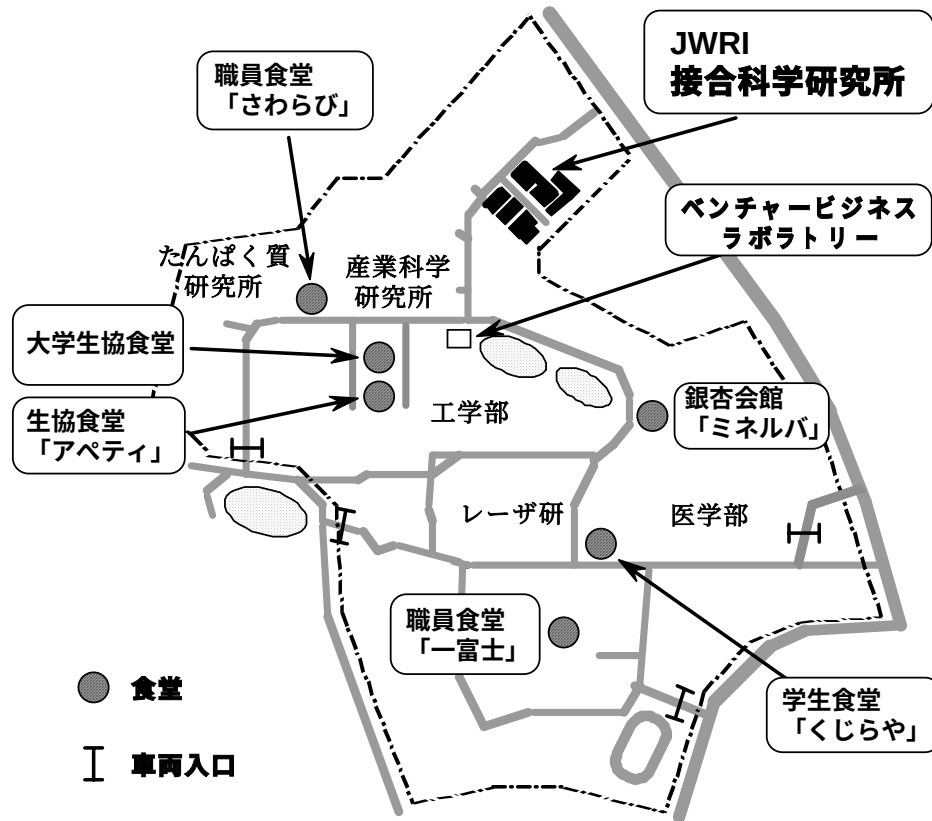
※○:講演者

大阪大学接合科学研究所荒田記念館へのご案内

1. 大阪（梅田）駅からでは、阪急電車千里線にて終点の北千里駅（約30分）下車。
2. 新大阪駅からでは、地下鉄にて終点の千里中央駅（約10分）で下車し、阪急バス「阪大本部前」行きに乗り換え、阪大本部前停（約15分）下車。または、千里中央にて大阪モノレールに乗り換え、阪大病院前駅（約20分）下車。
3. 上記ルートで下車後は下記案内図をご覧ください。
北千里駅より徒歩約30分
阪大本部前停および阪大病院前駅より徒歩約15分
4. なお、新大阪駅からでは、地下鉄にて終点の千里中央駅（約10分）で下車し、タクシー（「阪大吹田キャンパス・接合科学研究所」と運転手にお伝え下さい）を利用するのが最も早い。
運賃は約1500円。



大阪大学吹田キャンパス 食堂案内



大阪大学接合科学研究所

〒567-0047

大阪府茨木市美穂ヶ丘11番1号

電話 06(6879)8678